



# チームリーダーコース【西部】

～ “福祉の専門職” としてのキャリアを描こう!～

- ◆ 福祉・介護施設のチームリーダー等の役割を遂行できる共通スキル・テクニック・マインドの基本習得を支援します。
- ◆ 自らのキャリアアップの道筋を言語化し、専門職ひとりひとりのキャリアパスを、段階的・体系的に習得することを支援します。

【対象】 社会福祉施設（事業所）・介護保険事業所等に勤務しており、下記に該当する職員  
 ・現に主任、係長等のチームリーダーの役割を担っている職員  
 ・近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される職員

定員 **54人** ※定員を超えた場合は、抽選により受講者を決定いたします。先着順ではありません。

【会場】 浜松市福祉交流センター 2階 大会議室（浜松市中区成子町 140-8）  
 ※会場案内図は受講承認書でお知らせします。

【日程】 1日目：2019年7月17日（水） 9：50～16：30（受付は9：30～）  
 2日目：2019年8月 8日（木） 9：30～16：30  
 3日目：2019年8月 9日（金） 9：30～16：30

日 程	講 義 等 の 内 容	講 師
① 研修受講前の事前学習 「自己のプロフィールシート1」を作成 ※様式は受講許可書とともにお送りいたします		
1日目 (7/17)	◆チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 ◆福祉サービスの基本理念と倫理を推進する 等	(特非)静岡県障害者ケアマネジメント従事者ネットワーク 増井 潤 氏
② 2日目までの事前学習 「自己のプロフィールシート2」と「テキストの事前学習シート」を作成 ※詳細は1日目にご案内します		
2日目 (8/8)	◆チームリーダーとしての能力開発 チームリーダーとしての自己成長と職場研修の推進 等	社会福祉法人桂カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男 氏
3日目 (8/9)	◆研修のまとめ ◆3日間の集大成！キャリアデザインシートの作成	磐田市介護相談員 民生委員児童委員 栗原 寛美 氏

【申込方法】 **Web（会員）** 又は**郵便**でお申込みください  
 ※郵便の場合は、受講申込書（別紙）に返信用封筒（切手貼付）を添えてください  
 ※受講の可否は締切後にお知らせします。  
 ※締切後に受講者宛にお送りする「受講許可書」と「事前課題」を必ずお持ちください。

【申込締切】 **2019年6月5日（水）消印有効**  
 ※定員に達しない場合には引き続き申し込みを受け付けますので、お問い合わせください。

【テキスト・資料代】 **1,300円** ※ 初日に受付でお支払いください

【その他】 昼食は各自で御用意ください（会場内で飲食できます）

【主催・問合せ先】 **静岡県社会福祉人材センター研修課 担当：川島**

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 電話：054-271-2174

# 2019年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース 開催計画

2019年度のチームリーダーコースは、下記のとおり3回（各回 定員 54人）実施します。  
今回の募集は東部会場分です。

開催区分	実施日	会場	備考	定員（人）
西部	7/17（水） 8/8（木）～9（金）	浜松市福祉交流センター	今回募集	54
中部	4/24（水）、 5/20（月）～21（火）	静岡県総合社会福祉会館	実施済	54
東部	8/26（月） 9/12（木）～13（金）	三島商工会議所	別途募集	54

## ◆申込方法及び受講可否の連絡◆

☆県社協会員の施設・事業所様は、当会ホームページ上で研修にお申し込みいただけます。

<http://www.shizuoka-wel.jp/learn/information/>へアクセスしてください。

☆従来どおり郵便でもお申し込みいただけます。お申込方法及び受講可否の御連絡は、以下のとおりです。

	施設・事業所が県社協会員の方	会員でない方
研修の 申込方法	<b>WEBで申込み</b> ↓ 操作方法は「WEB サービスページの御案内及び操作マニュアル」を御覧ください。（平成 25 年 1 月送付済）	<b>郵便で申込み</b> ↓ 受講申込書に必要事項を記入し、施設所在地・施設名を記載した返信用封筒（切手貼付）を同封の上、下記までお送りください。 1 研修につき 1 枚の返信用封筒が必要です。
	<b>Eメールで回答</b> ↓ 募集締切後、おおよそ 1 週間以内に、申込みの際に入力した連絡先メールアドレスに受講可否の結果を送信します。	<b>郵便で回答</b> ↓ 募集締切後、おおよそ 1 週間以内に受講可否の結果を郵送します。

◆申込み・問い合わせ先 〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1 番 70 号  
 静岡県社会福祉人材センター研修課 TEL 054-271-2174

# 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

(初任者・中堅職員・チームリーダーコース)

## 本研修のおすすめポイント

### その① 受講料が 1,300 円 (テキスト・資料代のみ)

静岡県からの委託を受けて実施しているため、受講料はテキスト・資料代のみをいただいております。

### その② 現場で実践を積んでいる講師の話をお聴きすることができる

- ・講師を務めるのは、受講者と同じ“福祉現場”というフィールドにいる方々。
- ・受講者された方からは、「わかりやすかった」「こんな専門職でありたい」などの声が寄せられています。  
職場内にとどまらず職場外においても「目指したい専門職像」を見出すことができます。

### その③ 3日間を同じグループで過ごす中で、 チームを創り上げていく体験をすることができる

- ・グループは施設種別混合で構成→さまざまな福祉現場の職員と関わることができます。
- ・受講者の声：「他者と意見を交わす中で、新たな気づき・視点を得ることができた。」  
「チームだからこそできることがあるということを学びました」



### その④ 「自分の福祉の原点」を振り返ることができる

- ・就労動機や志はこの仕事への自己期待・自身の想いであり、仕事を続けていくための意志の源になります。
- ・受講者の声：「自分が福祉の現場に入ろうと思った初心を思い出せた」  
「自分の中に軸ができた気がします。今後の強みになりました。」

### その⑤ 受講者と上司のコミュニケーションが促進できる

- ・研修の事前課題、事後課題を通じて、「上司コメント」をもらうことが研修の構成の一つです。  
コメント欄は、「本人の持ち味 (プラス面、強み) について」「本人への期待について」と、上司・受講者がともに前向きな気持ちになれる項目が設定されています。

受講者の声：「自分の考えや業務の様子をしっかり見てくれているんだと実感した」

「上司からのコメントで自分のことを褒めて頂き、今後の意欲につながった。」

上司の声：「“なんとなく”ではなく、長期的な視野で仕事をするようになったと思います。」

「部下の想いや目標を知ることができてよかったです。

目標が達成できるよう、全力でサポートしていきます。」





2019年6月5日(水) 消印有効

※先着順ではありません。

## 2019年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

### チームリーダーコース(西部) 受講申込書

静岡県社会福祉人材センター 行

2019年 月 日

標記研修の受講について、次のとおり申し込みます。

ふりがな		性別	男 ・ 女
氏名			
経験年数	福祉の仕事の勤続年数 年 か月 (4月1日現在)	職種名	
法人名			
施設(事業所)種別名			
施設(事業所)名			
施設(事業所)所在地	〒 —		
※緊急時の連絡先は必ず御記入ください。	※電話連絡する際の担当者名 ( )	TEL ( )	
		FAX ( )	
	※休日、夜間等の緊急連絡先 ( )	TEL ( )	
≪受講する方が御記入ください≫ <b>●チームリーダーとしての想いや悩み等を御記入ください。</b> (当日の資料に、受講者の情報共有を目的として無記名で掲載させていただく場合がありますので御了承ください。)			

※「職種名」は、介護職、生活相談員、事務員、支援員などの区分を御記入ください。

※「施設(事業所)種別名」には特別養護老人ホーム、老人通所介護、児童養護施設、障害者支援施設など施設(事業所)の種類を御記入ください。

※申込書に記載された個人情報、この研修以外の目的で利用することはありませんが、氏名、職種、施設(事業所)種別名、施設(事業所)名は、受講者名簿に掲載させていただきます。

# <事前課題 見本>

※研修初日に提出 (8部コピーして持参)

自己のプロフィールシート

課程	チームリーダー コース
氏名	
事業所名	

下記の点について、記入してください(グループワークで使用します。差支えない範囲で記入してください)。

## 1. 現在の職場の概要と職務内容 (法人や事業所の概要・理念やサービス目標・職員数・現在の立場等)

見

<本研修への参加について>

- ① 法人・事業所の上司等からの指示で参加 (職務命令)
- ② 法人・事業所の上司等からの推薦で参加 (任意参加)
- ③ 自己研鑽の一環として自ら進んで参加 (経費等の支援を受けて)
- ④ 自己研鑽の一環として自ら進んで参加 (経費等は自己負担)
- ⑤ その他 ( )

## 2. 福祉の仕事に就職した思い・きっかけ・理由

本

## 3. これまでの経験のなかで感じたこと (特に印象に残っている出来事)

① 良かった出来事 (遭遇)

② 困った出来事 (遭遇)